

小学校5年・図画工作

「あんなところが こんなところに見えてきた」

使用したソフトや機能：カメラ機能 画像編集機能



〈ICT活用のポイント〉

- ①カメラ機能を活用することで、造形的な視点を意識させることができる。
- ②カメラ機能を活用することで、造形遊びの活動を記録することができる。

1 題材の目標

(1)「知識及び技能」に関する題材の目標

- ・場所にあるものの形や色などを生かして、楽しく見えるものをつくるときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解している。
- ・活動に応じて身近材などを活用するとともに、粘土や画用紙、はさみなどについての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくる。

(2)「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標

- ・場所にあるものや空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考える。
- ・身近な場所にあるものや自分たちの作りだしたものの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、つくり方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。

(3)「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標

- ・主体的に場所にあるものの形や色などを生かして、楽しく見えるものをつくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・場所にあるものの形や色などを生かして、楽しく見えるものをつくるときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解している。(知識) ・活動に応じて身近材などを活用するとともに、粘土や画用紙、はさみ、カッターナイフなどについての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくっている。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、場所にあるものや空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。(発想や構想) ・動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な場所にあるものや自分たちの作りだしたものの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、つくり方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。(鑑賞) 	<ul style="list-style-type: none"> ・つくりだす喜びを味わい主体的に場所にあるものの形や色などを生かして、楽しく見えるものをつくる学習活動に取り組もうとしている。

3 題材について

本題材は、日頃から見慣れている場所やものに能動的に働きかけ、材料を工夫して対象物の特徴を効果的に生かしながら楽しく見えるものをつくる活動を通して、視点を変えて身の回りの場所や環境をよりよいものに変える発想や構想をする力を育てる。



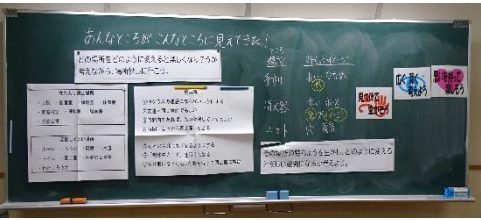
これまでの造形遊びでは、つくったものは最後に片付けてしまい、記録に残さないことが多かった。しかし、1人1台端末が導入されたことで、個人やグループで作ったものを、好きな時・場所・視点で撮影し、記録に残すことができるようになった。今回はタブレットを使い、楽しく変えられそうな場所やものの撮影、できた作品の撮影を行っていく。児童のイメージを広げるための道具、そして活動を記録する道具として、タブレットを活用していきたい。

4 指導と評価の計画 (全2時間)

時間	学習内容	評価の観点			指導上の留意点
		知	思	態	
1	<ul style="list-style-type: none"> 校内で新しい空間にできそうな場所を探して、どのように変えるか考えるとともに、活動の見通しをもつ。 場所の特徴を生かし、材料を工夫して楽しい空間につくりかえる。 	○	○	↓ ◎	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを持ち運びながらの活動のため、取り扱いに十分留意するよう伝える。
2	<ul style="list-style-type: none"> 場所の特徴を生かし、材料を工夫して楽しい空間につくりかえる。 自分や友だちがつくりかえた空間のよさや面白さを味わう。 	◎	◎		<ul style="list-style-type: none"> 教師の目の届かない場所で活動する児童もいるため、約束事を確認する。

5 1人1台端末を活用した時間の学習展開 【1時間目 (全2時間中)】

	学習活動と活動内容 (○)	教師の支援 (・) 評価項目 (◇)
導入	○授業前に1人1台端末を用意し、ログインしておく。	・ログインしたら、閉じて机の上に置くよう指示する。
15分	○活動の見通しをもつ。 ○めあて1を確認する。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> どの場所をどのように変えると楽しくなりそうか考えながら、場所探しに行こう。 </div> ○タブレットを持ち、校内で楽しい空間にできそうな場所を探しに行き、撮影してくる。	・児童が興味をもって本題材と出会えるよう、教師が考えた作品を見せて活動を提案する。 ・約束事を伝える。 ①活動してもよい場所と立ち入ってはいけない場所の確認。

	 <p>○撮影場所を見合う。</p>	<p>②他クラスに迷惑にならないようにする。 ③友だちと同じ場所であってもよい。 ④時間内であれば、数カ所探してきてよい。 ⑤時間になったら、図工室に戻ってくる。</p> <p>・タブレットで撮影した画像を開いておくよう指示し、お互いの撮影場所を見合わせるようにする。</p>
<p>展開</p> <p>20分</p>	<p>○めあて2を確認する。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center;"> <p>その場所の持ちょうを生かし、どのように変えると楽しい空間になるか考えよう。</p> </div> <p>○探してきた場所の特徴（形・色）とイメージを考え、共有する。</p> <p>〈児童の発言例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>階段の手すり</u> 斜め。細長い。 ・<u>手洗い場</u> 銀色。水が溜められる形。水のイメージ。 ・<u>消火器</u> 赤い。火を消すもの。 <p>○楽しい空間にするために必要なものを考え、材料を工夫しながらつくる。</p> <p>○完成したら、タブレットで撮影し、記録する。</p>	<p>・場所の特徴とイメージを整理して板書する。</p> <p>・児童がもったイメージに共感しながら、意欲を高めるような声かけをする。</p> <p>・見るポイントを提示する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>形・色・イメージ</p> </div> <p>・準備した材料や用具を紹介する。</p> <p>・活動中の友だち同士の意見交換も許可する。</p> <p>・つくりかえる前と後で同じアングルで写真を撮り、様子の変化を味わうように伝える。</p>
<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>○簡単に片付けをする。</p> <p>○本時の振り返りをして、次時の活動内容の確認をする。</p>	<p>・他の人の通行の妨げにならない程度に、片づけをするよう伝える。（2時間続きの場合）</p> <p>・タブレットは図工室に持ってくるように伝える。</p>

6 材料と用具について

〈児童〉 筆箱、クーピー、はさみ、セロハンテープ、タブレット

〈教師〉 画用紙、色画用紙、毛糸、スズランテープ、針金、ストロー、紙コップ、粘土

7 ICTの効果的な活用について

本題材は、場所の特徴を生かして材料を工夫して楽しい空間につくりかえる造形遊びの実践であり、その活動を記録するために1人1台端末のカメラ機能を活用した。本校では、図画工作科に限らず、各教科等で積極的に1人1台端末の活用をしてきたことにより、ICTの操作面についての指導は必要なく、活動の時間を多く確保することができた。

本時の導入部では、校内の楽しい空間にできそうな場所を探し、撮影してくる活動を行った。児童が「この場所にしよう!」と感じた瞬間に、気軽に写真で記録できる良さがICTにはあると感じた。場所探し後の活動では、撮影した写真を見ながら材料づくりをしている姿が見られ、自分のイメージを広げるための道具として1人1台端末を活用していた。

終末部では、自分の作品をそれぞれのアングルで撮影していた。これまでは、授業者がデジタルカメラで一人一人の作品を撮っていたが、1人1台端末があることで、児童自身がお気に入りのアングルで撮影することが可能になり、より作品にこだわりがもてる良さがあると感じた。

8 活動の様子と児童の作品

